

(東栄町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 1校、中学校 1校		
	地域学校協働活動推進員等の配置	統括的な地域学校協働活動推進員	1人	
		地域学校協働活動推進員(協力推進員)	9人	
	状況	統括コーディネーター	1人	
		地域コーディネーター	0人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 1校	中 1校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 1校	中 1校	



(活動の実際)

今年度から始まった「とうえいCS」は、小学校中学校合同設置(保育園とも連携)、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体型運営が特徴であり、「未来を担う子供たちをみんなで育てる」ことを目指している。昨年度の準備委員会のメンバーから9人(関係諸団体より)を協力推進員とし、これまで行ってきた地域活動を軸にスタートした。第1回学校運営協議会を受けて実施した年度当初の合同部会で、小学校では「ねらいある活動で、地域の人と笑顔に!」、中学校では「地域の役に立つことで、ふるさとに誇りを!」をキーワードに活動を進めることを共通理解した。

<小学4年生総合的な学習の時間 「福祉」の取組>

4月末、担任の思いと年間活動の希望をもとに、役場福祉課、社会福祉協議会との合同打合せを実施した。それぞれの団体の願いと実施時期をすり合わせ年間の見通しをもつことができ、その後の活動につながった。各活動の前には、具体的な進め方の確認と役割分担をし、例年以上に中身の濃い活動ができた。

<地域に知らせる取組>

- ・とうえいCSだより…毎月地区回覧、町内8か所に掲示
- ・東栄チャンネル掲載…地域学習の内容を、地域限定12チャンネルに掲載
- ・東栄町文化祭作品展示会へのコーナー設置…取組の写真・子供の意識調査結果掲示、感想募集

(◎成果と●課題)

- ◎コーディネーター・推進員という窓口がはっきりしたことで、新しい取組につながった。また、実施の可否や時期を調整したり、打合せの場を設定したりしたことで、学校側の負担減につながった。
- ◎活動のねらいを地域講師や関係機関に伝えることで、目的に即した活動につながった例もある。
- ◎少しずつではあるが、とうえいCSの存在が認知されてきた。
- 協力推進員として何をすることが中途半端だった。活動に関わる人選につなげる必要がある。
- 保育園から中学校までの発達段階に応じた活動を整備する必要性を感じている。

(関係者の声)

- ・連絡調整をコーディネーターがやってくれることで、活動がスムーズにできた。(教員)
- ・福祉課や社協と連携したことで、予想以上に多様な活動ができた。子供も変わってきた。(教員)
- ・将来の職業選択につながればと感じる。子供たちがたくさん質問してくれてうれしかった。(事業者)
- ・いろいろな体験ができる、東栄のことが分かる、地域の人となかよくなれるのがよい。(児童生徒)
- ・一緒に過ごしたお年寄りが本当にうれしそうだった。子供から元気がもらえた。(施設指導員)
- ・地域交流が盛んになったように感じる。娘も声をかけていただく機会が増えた。様々な世代の交流が東栄町を活気づけるように思う。地域の人もやりがい、生きがい、自信がもてる。(保護者、町民)